施策番号	1402
施策名	自立した地域生活への移行促進
概要	障害のあるひとが地域社会のなかで安心してくらせるための保健医療施策を充実 させるとともに、福祉施設や精神科病院から地域生活への移行を促進する。
担当局·部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室 共管局・部室 子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部
上位政策	14 障害者福祉
施策に関係する 主な分野別計画等	はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン

施策の評価

1 客観指標評価

	指標名	平成	令和			令和2年	度評価		
	旧馀石	30年度	元年度	前回値	最新值	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	居宅介護等の利用時間数 (時間)	b	b	212, 235	231, 365	228, 563	101. 2%	а	1.00
2	グループホーム等の利用者数 (人)	а	a	852	931	852	109.3%	а	1.00
3	自立支援医療の受給者数(人)	b	a	36, 793	37, 251	36, 793	101. 2%	а	1.00
4	-	-	1	ı	1	1	-	-	
5	-	-	-	-	-	1	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
	客観指標総合評価	а	а					а	

2 市民生活実感評価

	=n.nn	平成				令和元年原	ŧ			令和
	設問	30年度	評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	2年度 ※
1	障害のあるひとが、みずから必要な福祉 サービスを選択し利用することで、住み慣	С	С	22	173	253	99	42	589	_
Ľ	れた地域でくらしやすくなっている。	C	C	3. 7%	29.4%	43.0%	16.8%	7. 1%	509	
2	-	_	_							_
Ĺ										
3	-	_	_							_
4	-	_	_							_
_										
5	-	-	_						.	-
	市民生活実感調査総合評価	С	C							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<u><</u> 総	合評	西>					
平月	成30	В	令和元	В	令和2	В	施策の目的がかなり達成されている
重み	☑ 客	F観指標					るという,対象が限られた施策であり,市民の いるため,客観指標を重視する。
付 け	□ #	ī民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- ☑ b評価以上であり,施策の効果が客観指標に表れている。
- □ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- □ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
- ☑ c評価以下であり,次の原因が考えられる。
 - ・障害のある人などへの理解が、社会全体に十分に広がっているとはいえないことから、「どちらとも言えな い」とする回答が最も多くなっており、c評価で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

くこの施策を構成する事務事業>(令和元年度又は令和2年度新規事業)

	-				
		事業費の物	犬況(千円)	令和2年度事務事業	
	事業名	令和元年度 決算額	令和2年度 予算額	評価結果における 目標達成度評価	担当局
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・障害のあるひとの自立した地域生活への移行を促進するため、一人一人のニーズに応じたサービス 提供を行うとともに、家族の介護負担を軽減する観点からも、きめ細やかな在宅生活支援施策の実施 や,グループホームの設置促進等に努めていく。 ・また,福祉サービスの利用等に当たって,必要な情報を提供し,自己選択・自己決定が可能となる
- よう相談支援の環境を整えていく。

施策名 1402 自立した地域生活への移行促進 指標名 居宅介護等の利用時間数(時間) 担当課 $2\ 2\ 2-4\ 1\ 6\ 1$ 障害保健福祉推進室 連絡先 指標の説明 |障害のある方に対する居宅介護等事業(ホームヘルパーの派遣等)の一月当たりの利用時間数 指標の意味 算出方法・出典等 障害がある方の自立した地域生活への移行に 算出方法:年間延べ利用時間数÷12月 向けた居宅介護等の進捗状況を示す指標 出典:事業担当課調べ 数値 前回数值 最新数值 目標値 推移 平成30年度 数値 根拠 令和元年度 達成度 京都市障害福祉計画を実現するために 必要となる時間数の見込み(平成28年 度194,563時間,平成29年度206,300時 231.365 数値 212.235 19.130時間増 228.563 101.2% 間, 平成30年度217,206時間, 令和元年 度228,563時間,令和2年度239,920時 間) 中長期目標 全国順位 根拠 目標年次 達成度 数値 備考 令和2年度 第5期京都市障害福祉計画 数値 239,920 96.4% 評価基準 6 基準説明 7 評価結果 最新数値の目標値に対する達成度が 目標値に対する達成度が100%以上を 平成30 令和元 令和2 a:100%以上 aとし、以下10%刻みで基準を設定し b:90%以上~100%未満 c:80%以上~90%未満 d:70%以上~80%未満 b b а e:70%未満

指標名 グループホーム等の利用者数(人)

担当課 連絡先 222-4161障害保健福祉推進室

指標の説明

グループホーム・福祉ホームの利用者(支給決定者)数

指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に 資する各種ホームの活用状況を示す指標

算出方法・出典等

算出方法:グループホー -ム等利用者全数調査

出典:事業担当課調べ

4 数値

	前回数值	最新数值	 15		目標値	
	平成30年度	令和元年度	推移	数值	根拠	達成度
数值	852	931	79人増	852	過去3年間の最高値(平成30年度)	109.3%

いため、過去3年間の数値を基に、最高値

以上をa,平均値以上をcとし,最低値も

	ᄉᄝᄪᄺ				中長期目標
	全国順位	数值	目標年次	達成度	根拠
数值	-			-	

備考

平成28年度: 772人 平成29年度: 828人 平成30年度: 852人

(参考:過去3年の利用者

評価基準

6 基準説明

最新数値が

- a:過去最高値以上
- b:過去最高値未満~上中間値(最高値と平均値
- c:上中間値未満~平均値以上
- d:平均値未満~下中間値(平均値と最低値の 間) 以上
- e: 下中間値未満

最高値:852人(平成30年度) 平均值:817人 最低值:772人(平成28年度)

含めた按分で基準を設定した。

7 評価結果 当該指標については民間部門の寄与度が高

平成30 令和元 令和2 а а а

施策	名	14	102	自立し	た地域生活への	の移行促進					
指標	名	自立支	援医療の	の受給者	首数(人)						
担当	当課	障害保備	建福祉推	進室		連絡先	2 2	2-4	161		
	標の説										
自立支持	援医療費	!(更生	医療,育	'成医療,	精神通院医療)	の受給者数					
	標の意味をまる		た地域生	汗へのチ	後行!ア	3 算出方法 算出方法: 各医			行調本		
			に地域生 る支援状			异四万伝:谷医 出典:事業担当		百白 王发	(神宜		
4 数											
4 数	前回	数値 80年度	最新		推移		1	目標値			達成度
4 数 数値	前回 平成3	数値 30年度 793	令和力	<u>数値</u> 元年度 251	推移 458件増	数值 36,793			[根拠 : (平成30年)	度)	
	前回 平成3	0年度	令和力	元年度 251	458件増	数值			根拠	度)	
	前回 平成3	0年度	令和力	元年度 251	458件増中長期目標	数值			根拠 (平成30年 (参考: 遊	過去4年の受済	101.29
	前回 平成3 36,	793	令和5 37,	元年度 251	458件増中長期目標	数值 36,793			根拠 (平成30年 (参考: 過 平成27年度 平成28年度	過去4年の受き ほ:31,367人 ほ:35,744人	101.29
	前回 平成3 36,	793	令和5 37,	元年度 251	458件増中長期目標	数值 36,793		の最高値	根拠 (平成30年 (参考: 過 平成27年度 平成28年度 平成29年度	過去4年の受済 医:31,367人	
数値	前回 平成3 36, 全国順位	793	令和5 37,	元年度 251	458件増 中長期目標 根	数值 36,793		の最高値	根拠 (平成30年 (参考: 過 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	過去4年の受; E:31,367人 E:35,744人 E:34,807人 E:36,793人	101.29
数值 数值 5 評	前回 平成3 36, 全国順位	793	令和5 37,	元年度 251	458件増 中長期目標 根 6 基準説明	数值 36,793	過去4年間	の最高値	根拠 (平成30年 (参考: 過 平成27年度 平成28年度 平成29年度	過去4年の受; E:31,367人 E:35,744人 E:34,807人 E:36,793人	101.29
数値 数値 5 評 最新数値	前回 平成3 36, 全国順位	793 数値	令和5 37,	元年度 251	458件増 中長期目標 根 6 基準説明 当該指標について	数值 36,793	過去4年間	の最高値	根拠 (平成30年 (参考: 過 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	過去4年の受; E:31,367人 E:35,744人 E:34,807人 E:36,793人	101.29
数值 数值 5 新過点去 a a : b : c : d : d : d : d : d : d : d : d : d	前回 平成3 36, 全国順位	793 数値	令和5 37,	元年度 251 達成度	458件増 中長期目標 根 6 基準説明 当該指標についてに伴い、医療の受ることから、過せ	数値 36,793 拠 では、障害のあるご 受給者数も増加が 長4年間の数値を基	過去4年間 別の増加 見込まれ に、最	の最高値	根拠 (平成30年, (参考: 遊考 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	過去4年の受; E:31,367人 E:35,744人 E:34,807人 E:36,793人	101.29
数値 数数 数 数 数	前回 平成3 36, 全国順位 が高値未満 と 見上間値未満~	793 数值 ~上中間(平均值以」	令和元 37, 目標年次 直(最高値 上	元年度 251 達成度 - と平均値	458件増 中長期目標 根 ・	数値 36,793 拠 では、障害のあるご そ給者数も増加が見	過去4年間 過去4年間 力の増加 見込ま最 に、最低	の最高値	根拠 (平成30年) (参考: 遊客7年度 平成28年度 平成30年度 7 評価 平成30	過去4年の受; 更: 31, 367人 更: 35, 744人 更: 34, 807人 更: 36, 793人 結果 令和元	101.29 給者数) 令和2
数値 数数 数 数 数	前回 平成3 36, 全国順位 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	793 数值 ~上中間(平均值以」	令和元 37, 目標年次	元年度 251 達成度 - と平均値	458件増 中長期目標 根 ・	数値 36,793 では、障害のあるご 受給者間の数値を基 と4年間の数値をとし で基準を設定した。 (平成30年度)	過去4年間 過去4年間 力の増加 見込ま最 に、最低	の最高値	根拠 (平成30年, (参考: 遊考 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	過去4年の受; E:31,367人 E:35,744人 E:34,807人 E:36,793人	101.29